

## 平成27年度第2回高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の要旨

日 時：平成27年11月17日（火） 18時30分～19時45分

場 所：高知共済会館4階「浜木綿」

参加者：委員11名

### 議 事

#### 1 第1回医療関連感染対策研修会の参加人数等について（報告）

事務局より、平成27年7月5日の研修会参加者数等について、資料に沿って報告があった。

<委員からの質問・意見等>

なし。

#### 2 第2回医療関連感染対策研修会（H28.1.11）について

事務局より、資料に沿って内容等について、「医療関連感染相談」の講師を決定する必要があり、今月末か、来月初めには、医療機関に案内文書を発送したいと考えていることが説明された。

<委員の意見>

（「医療関連感染相談」の講師について）

- ①ネットワーク会議の委員ではないが、実際に医療機関から相談を受けて対応するICNの方をお願いしてはどうか。
- ②相談窓口から相談を受けるのはICNなので、ICNが良いと思うが、一存では引き受けられないので、皆の意見を聞きたい。

### 結 論

- ICNのメンバーの意見を聞き、引き受けていただけるならば、お一人を選出していただくことを副会長に一任することとなった。

#### 3 医療関連感染相談対応について

事務局より、以下の報告があった。

- ①8月31日に案内文書を医療機関（県下の病院及び医科診療所）に発送した。
- ②9月25日に高知県ホームページ医事薬務課のページに掲載した。
- ③10月1日から相談を開始しているが、今のところ、相談及びアウトブレイクの連絡はない。

<委員からの質問・意見等>

なし。

#### 4 医療関連感染相談対応リーフレットについて

川村委員より、以下の説明があった。

- ①インパクトのあるリーフレットを作成するために、カツオ人間とその奥さんのイラストを使用することを考えている。
- ②11月5日に著作権を持っている山西金陵堂に行き、相談をした。  
決まったポーズであればOK。手に何か（たとえば消毒液、聴診）を持たせることもOK。  
「吹き出し」はだめであるが、イラストの近くにセリフを置くのはOK。ただし、フェイスブックで使用しているような言葉であること。
- ③使用できるポーズがかなり限られているので、うまくできるかどうか、原案を作っている。
- ④内容については、資料参照。

<委員からの質問・意見等>

なし。

#### **結 論**

- 原案を作成し、メーリングリストを活用して委員から意見をいただき、今年度中に完成できるようにすることとなった。

## 5 平成28年度事業予算について（報告）

事務局より、資料及び以下の報告があった。

- ①現在、28年度予算見積（案）策定の真っ最中である。
- ②大学から提案のあった研修等について、新基金を財源とした事業運営は難しいということで断念し、他の方法で進めている。
- ③内容については、今年度までの事業及び相談対応の事業を入れた予算を組んでいる。

<委員からの質問・意見等>

①Q：新基金が困難な理由は、主旨にそぐわないためなのか、それとも現時点では、予算的に無理なのか？

→A：（事務局）現時点では、予算的に困難である。人材の育成という観点で読み込むことは可能であるが、新基金にあげても難しい状況である。県として、この取り組みを止めるわけにはいかない、継続する必要があると認識している。

地域全体の底上げという目的を考えると、特に診療所における感染対策が必要と考える。そのために、研修会やエリアごとの取り組みを進めていく必要があると考える。

②Q：災害時の感染対策について、具体的な進展があるのか。

→A：（事務局）避難所での感染対策については、当課が直接かかわっていないところでの検討となっているので、具体的なことは判らない。

（関係機関）避難所運営、保健活動の中で感染症予防対策というガイドラインがある。

危機管理部が避難所の運営マニュアルの雛形を作成しており、その中で、例えばトイレは2メートル以内に作らない等、感染予防に関する項目は入れてもらっている。

(委員) 2次医療圏レベルで、2地域をモデルとしてマニュアルを作成しているところである。

(委員) ICNネットワークの会、地域支援ネットワーク会議、危機管理部、健康対策課等一緒になって、高知県全体で考え、各支部で考える方向で、次年度に検討することが必要と考える。

## 6 その他

### (1) 「院内感染対策連携研究班」第1回会議について(情報提供)

高知市保健所豊田副所長より、厚生労働科学研究のひとつとして全国的な院内感染対策を研究するものであること、及びその会議の委員について説明があり、資料に沿って発表内容の情報が提供された。

また、委員から良い取り組みであるといっていたこと、他県から資料使用の問い合わせ等があったことが報告された。

<委員からの質問・意見>

なし。

### (2) 幡多地域のメーリングリスト活用状況について(報告)

川村委員より、以下の報告があった。

- ①10月20日に幡多地域合同カンファレンスを開催(渭南病院)した際、メーリングリストの運用要綱を諮り、本日から運用開始した。
- ②内容として、気軽に相談事を書き込むこと、個人情報に留意したインフルエンザ等の流行するような感染症の発生にかかる情報共有、衛生研究所からの週報の掲載を考えている。
- ③公共的などころ以外からの添付文書については、なしとしている。

<委員からの質問・意見等>

Q:メーリングリストの参加機関はどれだけか。

A:幡多地域の病院に声がけをして、希望機関の実務者のアドレスを登録しており、数件がもれている状況である。

### (3) 高知県の針刺し事故エイズ対策について

福永健康対策課長より、取り組みにいたる経緯、予防配置薬の拡充等について、以下の追加説明と資料に沿って説明があった。

- ①経緯について:エイズ拠点病院以外を受診する患者も増えてきている状況があり、一昨年、歯科を受診したエイズ患者が、次からは拠点病院に行くように言われたことがあった。万が一、暴露事故が起こった場合、2時間以内に予防内服ができるような体制を整えることが必要となった。
- ②拠点病院から歯科診療所に診療を依頼している場合は、確実に暴露の可能性はある。
- ③患者がHIVに罹っているか否か、判っていない場合は採血をして迅速検査を行い、予防内服をしてもらうことになるが、検査ができない場合には、予防内服をするか否かを自己決定してもらうことになる。

- ④一般の医療機関については、基本的に情報は持っていないので、H I Vか否か不明な場合は、検査キットを使つての検査となる。検査キットには2種類有り、15分から20分程度で結果が出る。

#### (4) 委員からの質問・意見等

(エリアネットワーク活動について)

①Q：今年度のネットワークの活動で動いているものは何か。以前は、地域エリアごとの研修などをしていた。

→A：(事務局) 中央東地域では、何らかの研修ができればよいということになっていたが、できていない。

高知市地域では、冬場に研修会を計画しようとしている状況。

幡多地域では、メーリングリストを活用した取り組みを実施。

中央西・須崎地域では、できていない。

28年度予算には、各エリアでの研修を1回は実施できるように予算の要求をしている。

②27年度の研修に関しては、お金が結構かかるので、予算が取れないと聞いていた。

③相談対応・アウトブレイク対応の体制できてくれば、県内のレベルを底上げするためには、感染予防に関する教育・研修が大切になってくる。

④県下の耐性菌の状況等も踏まえて、次年度どのように活動するか等事業内容について検討をする方向を第3回の会議に提案できればよい。

#### 第3回医療関連感染地域支援ネットワーク会議の日程について

2月1日(月)～2月16日(火) (土・日・祭日を除く) 18時30分～20時30分で調整した結果、

平成28年2月15日(月) 18時30分～20時30分に開催することが決定した。

開催場所については、後日連絡することとなった。